

平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		3014 10		
基 本 事 項	事務事業名	移動支援事業		所管部署名	健康福祉部 社会福祉課 自立支援係			
	事業期間	昭和62年度 ~ 未設定	事業年齢	21歳	事前評価責任者	岡田忠篤	連絡先	048 - 982 - 9530
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	障害者自立支援法			
	事務事業の性質	毎年繰り返し		執行方法	一部委託 <small>③移動支援事業:社会福祉協議会他介護給付指定事業所へ委託</small>			
	基 本 の 計 画 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
		大綱	元気でやさしさあふれたまちづくり(健康福祉部門)		歳 出 予 算 科 目	事業名	外出支援サービス事業	
		大柱	みんなが支えあう障害者(児)福祉の推進			会計区分	一般会計	
		中柱	社会参加の促進			款	民生費	
	小柱	社会参加のための支援		項		社会福祉費		
	第4期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	前年度の事務事業有無・管理番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	301410	
事 目	対 象 (誰を、何を)	①身体障がい者、精神障がい者 ②身障手帳1~3級で上肢、下肢又は体幹障がいの方 ③全身性、視覚、知的、精神障がい者 ④一般交通機関の利用が困難な障がい者・児		手 段 (どのような事業を行うのか)	①免許取得費:18万円を限度に取得費の2/3を支給 ②改造費:障がいに対応したブレーキ、ハンドル等の改造費用の1/2、10万円を限度に支給 ③移動支援:委託先のヘルパーが外出をサポート ④のぞみ号貸出し:車椅子のまま乗降できる福祉車両の貸出			
		対象年齢	00		99	全年齢	事 務 事 業 を 取 巻 く 環 境 の 変 化 ・ 実 施 上 の 課 題	障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の移動支援事業については、開始後様々な課題があがっており、一つ一つ検証し、改正すべき点を改正する必要がある。
的 意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	①運転免許を取得し、就労や更生ができ、行動範囲が拡大する。 ②、③、④移動が容易になり、日常生活が便利になる。また、生活圏が拡大し、社会参加が可能になる。							
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	介護給付事業(重度訪問介護、通院介助等)				
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	650405	身体障害者運転免許取得費補助金交付	650406	自動車改造費補助金交付		
事業関連ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/9,820,53,329.html					

区分	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度			平成21年度	平成22年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	2,696	5,034	5,920	5,359	324	6,288	6,288	
	② 人件費	正職員直接投入人員	0.1人	0.06人	0.06人	0.14人	0.08人	0.14人	0.14人
		正職員間接投入人員	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0人	0.01人	0.01人
	③ 間接経費(加算)								
	④ コスト対象外(除外)								
	⑤ トータルコスト(①+②+③-④)	3,624	5,637	6,528	6,621	984	7,550	7,550	
資 源	⑥ 国庫支出金	834	1,751	3,241	2,461	710	2,968	2,968	
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2	0	1/2	1/2	
	⑦ 県支出金	417	876	1,620	1,230	354	1,484	1,484	
	県補助率	1/4	1/4	1/4	1/4	0	1/4	1/4	
	⑧ 市債								
⑨ その他									
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)								
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	2,373	3,010	1,667	2,930	-80	3,098	3,098	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	障がい者数(身体・知的・精神)	人	1,800	1,860	1,966	2,079	2,179
		増加する		1,780	1,886	1,979		
活 動 指 標	①	自動車改造費、免許取得費支給申請者数	人	2	2	2	2	2
		実人数		2	1	1		
	②	移動支援事業利用者数	人	53	100	130	145	145
		増加する		53	139	142		
成 果 指 標	③	のぞみ号利用登録者数	人	45	55	52	64	64
		年間登録者実数		54	49	64		
成 果 指 標	①	のぞみ号利用件数	件	260	150	120	145	145
		年間利用延べ数		149	117	143		
	②	移動支援事業利用時間(総数)	時間	551	1,040	1,500	1,550	1,550
増加する	551	1,460		1,545				

業績	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション 成果改善の取組維持、コスト向上の取組を十分に見直し必要 
	活動結果	② 移動支援事業利用者数	増加することが良いとされる指標	100.00% ★★★★★ 達成された	139.00% ★★★★★ 達成された	109.23% ★★★★★ 達成された	
	成果達成度	② 移動支援事業利用時間(総数)	増加することが良いとされる指標	100.00% ★★★★★ 達成された	140.38% ★★★★★ 達成された	103.00% ★★★★★ 達成された	
	効率性	単位当たりコスト	トータルコスト×1,000円 ② 移動支援事業利用者数	平成19年度 円/人 40,554	平成20年度 46,626	↓ コストが増加している	
説明	障害者自立支援法の施行により、自動車改造費補助金及び自動車運転免許取得費補助金は、給付費として再編し、新たに地域生活支援事業の移動支援事業を18年10月から開始した。また利用支援事業利用者数は増加し、移動支援事業としての事業内容に幅が広がり、目標に対する成果は大きいと考える。						

官民役割分担評価	公共性		実施主体の妥当性		市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	特定の個人又は集団に提供されるが、突出した必要性が見当たらないサービス	行政専門性	政策的及び専門性について、中間に位置するサービス	高		
私益性・個人消費性	必要性	行政専門性	改善の必要性	改善の必要性	低	低
②必需・私益	①必需・公益	②経常的行政専門性	①政策的・行政専門性	③経常的・一般専門性	④政策的・一般専門性	
③選択・私益	④選択・公益	③経常的・一般専門性	④政策的・一般専門性			
選択性	選択性	一般専門性	一般専門性			

事業性	区分	評価	評価判断理由
	妥当性	役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり
有効性	目的(対象・手段)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	障がいにより移動が困難な方への支援であり、対象・手段ともに妥当である。
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	障がい者の自立を支援し、生活圏の拡大を支援する事業であり、意図は妥当。のぞみ号は、車椅子のまま乗車できるため、本人にも介護者にも負担が少ない。
評価	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	移動支援車両(のぞみ号)は、現在車両1台で行っており、利用件数が減っているため成果向上の余地あり。
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	障がい者の自立支援、移動支援、介護負担の軽減に貢献している。
効率性	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	移動支援車両(のぞみ号)は、入札方式で行い、安価なリース料での契約ができた。移動支援事業の単価については、旧支援費制度の金額を用いて設定しているが、不具合が生じており見直しが必要。
	受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	移動支援車両(のぞみ号)の利用者は、運転者の手配と返却時にガソリンを満タンにすることをルールとしており、一部自己負担していることになる。移動支援事業については、原則1割負担で所得により負担率を下げ軽減している。

改革改善	これまでの事業の改善状況と内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input type="checkbox"/> 改善した事項は、ない
	二ズ等の状況と課題	移動支援車両の貸し出しは、平成14年度まで社会福祉協議会に委託して実施していたが、車両が老朽化していたため故障等のトラブルが多く、平成15年度から市に戻した。平成15年12月より、車両を新しくし、故障等のトラブルを解消した。旧車両の時は、無料であったが、現在はガソリンを満タンにして返却してもらっている。
	今後の改革改善策	移動支援車両の貸し出しは、予約が重なる場合があり、先約があると使えないため、台数を増やしてほしいとの要望あり。移動支援事業の単価が身体介護ありの場合と無の場合で差が大きすぎる。移動支援事業の対象者を拡大してほしい。
	改革改善により期待される効果	のぞみ号に関しては、当面は、現状維持。今後、予約が重なる場合が増加するようなら、利用回数に制限を設け、公平化を図る必要がある。移動支援事業の単価については、旧支援費制度の金額を用いて設定しているが、実際に合わせ見直しを行う。
	公平に利用することができる。	

事業(一次評価)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一次評価日	平成21年6月26日	一次(事後)評価責任者	関根 勇
二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了	
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する	
	説明		

二次評価日